別紙1 清掃面積等調書

	室名	仕上材		対象業務							清掃
階			種別	日常清掃(床)		日常	日常	定期	剥離	カーペッ	面積
		床仕上げ		除塵	部分 水拭き	巡回	その他	清掃	洗浄 (1/年)	ト洗浄 (1/年)	(㎡) ※概算
	風除室(駐車場側出入口含)	御影石	硬質床	1/目	1/日	1/日		1/月			15.00
	フリースペース (流し台あり)	タイルカーペット	繊維床	1/日				1/月		0	210.30
	事務室	タイルカーペット	繊維床	1/目				1/月		0	23.16
	印刷室	タイルカーペット	繊維床	1/目				1/月			15.54
	会議室1	タイルカーペット	繊維床	1/日				1/月		0	97.48
	会議室2 (流し台あり)	複層ビニル床シート	弾性床	1/日	1/日			1/月	0		33.44
	会議室3	タイルカーペット	繊維床	1/日				1/月		0	62.11
1階	廊下	タイルカーペット	繊維床	1/日				1/月		0	21.59
	通路	複層ビニル床シート	弾性床	1/日	1/日			1/月	0		16.47
	便所	大理石	硬質床	1/日	1/日	1/日		1/月			23.12
	多目的トイレ	複層ビニル床シート	弾性床	1/日	1/日	1/日		1/月	0		7.02
	多目的室	タイルカーペット	繊維床					1/月			19.90
	駐車場、構内通路、 花壇等						1/日				1000.00
	窓ガラス							1/年			252.75

別紙2 清掃作業実施要領

1. 日常清掃、巡回清掃

清掃箇所	清掃内容
風除室	イ. 掃き拭き掃除・マットの土ホコリを除去
(駐車場側出入口含)	ロ. ドアおよびガラスは、水拭きを行うこと。
	イ. 床の清掃-掃除機を使用して除塵。
事務室	ロ. ごみ箱ーごみを収集、廃棄する。
	ハ. 接客カウンターータオルで水拭きする。
	イ. 床の清掃-掃除機を使用して除塵。 汚れが床に付着している場合は、ヘラ等を使用して汚れをとり除くこと。
フリースペース	ロ. 机部分-タオルで水拭きする。
	ハ. イス部分-汚れのひどい場合はタオルで水拭きする。
	ニ. 流し台は洗い拭きし、茶殻等のごみは回収すること
会議室1 会議室3	イ. 床の清掃-掃除機を使用して除塵。 汚れが床に付着している場合は、ヘラ等を使用して汚れをとり除くこと。
印刷室	ロ. ごみ箱ーごみを収集、廃棄する。
会議室 2	イ. 床の清掃-ほうきで掃き、汚れの目立つ部分はモップ・雑巾で拭く。
云峨生 2	ロ. 流し台、ガス台は洗い拭きすること
	便所に用いる洗浄用品、タオル、モップ等の資機材は、他と区別して専用のも のを用いること。
	イ. 床の清掃-ほうきで除塵後、汚れが付着した部分をモップで拭く。
	ロ. ごみ箱ーごみを収集し、容器外面の汚れた部分はタオルで拭く。
便所、	ハ. 洗面台・水栓ースポンジで適正洗剤を塗布、洗浄後タオルで拭く。
多目的トイレ	ニ. 扉、間仕切り一水拭きをする。
	ホ. 鏡-適正洗剤を用いて拭く。
	へ. 衛生陶器 - 適正洗剤を用いて洗浄し、拭く。同時に金属類も拭く。
	ト. 衛生消耗品ートイレットペーパー、水石鹸等の衛生消耗品を補充する。
	チ. 汚物容器-内容物の収集・容器外面の汚れ部分はタオルで拭く。
廊下	イ. 床の清掃-掃除機を使用して除塵。 汚れが床に付着している場合は、ヘラ等を使用して汚れをとり除くこと。
通路	イ. 床の清掃-ほうきで掃き、汚れの目立つ部分はモップ・雑巾で拭く。
駐車場、 構内通路、	イ. 掃き掃除し、ごみ、落ち葉等の処理を行う。汚れの程度により水等で洗浄すること。 (苔や雑草等の簡易除去を含む)
花壇等	ロ. 側溝、排水溝は塵等で詰まることのないようにする。

別紙2 清掃作業実施要領

2. 定期清掃

清掃箇所	清掃内容					
弾性床 複層ビニル床 シート	床面を掃き粗ゴミを除去する。適正洗剤を塗布した後、洗浄機を用いて汚れを 除去する。汚水を除去し適正ワックスを塗布して仕上げる。 *剥離洗浄(年1回)					
硬質床	床面を掃き粗ゴミを除去する。適正洗剤を塗布した後、洗浄機を用いて汚れを 除去する。必要に応じてブラシ等により艶出しを行う。					
便所・衛生陶 器等	便器、鏡、化粧台等は、適正洗剤で汚れを除去した後、乾布にて拭きあげる。 なお、便器に使用する器材等は、専用のものとする。					
繊維床	真空掃除機を用いて塵埃を吸引処理し、著しい汚れは適宜染み抜きを行う。ただし、床材を損傷しない程度とする。 *洗浄(年1回)					

3. ガラス清掃

清掃箇所	清掃内容						
窓ガラス	床ガラス面(内面及び外面)に中性洗剤を適正希釈したものを塗布し、汚れを 分解して、窓用スクレイジーで汚水を除去する。 ガラス面の隅に残った汚水をタオル等で拭き取る。						